

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月26日

事業所名 ゆにば

回答数8名 回答数8未満はどちらともいえないに回答、もしくは分からないので回答なし

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	学習の習慣づけをするために到着したら学習室へ入ることを基本としています。	活動スペースを使うこともしていますが、学年が変わることで利用開始時刻もかわってくるため、様子を見て検討していきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	児童指導員等は基本4名で対応しています。	これまで通りの対応となります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	1	入口まではバリアフリー化されていますが、室内は怪我防止と防音のためクッションを敷いており、踏みやすい場所があります。	4階にあり階下への騒音防止のためクッションをひいていません。バリアフリー化との両立は難しいです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	スタッフの意見を聞きながら実施に当たっている。	PDまでは進むがCAが実施されていないこともあり、PDCAサイクルが実施されるように見直しを進めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	保護者アンケートの内容も踏まえながら、改善点を検討していきます。	今後もアンケート結果による保護者の意向も踏まえて改善を進めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページに過年度分も合わせて公開しています。	これまで通りの対応となります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	実施しませんでした。	事業所の自己評価表をもとに改善点の洗い出しをしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	研修を計画的に行っています。	これまで通り対応していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	契約時に保護者面談と聞き取り用紙を元にアセスメントで個別支援計画書を作成しています。	これまで通り対応していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	記録用紙にアセスメントのチェックリストを記載しています。	アセスメントツールについては、5領域にそったものを新たに作っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	打ち合わせの時に集団活動の内容を相談しています。	企画案を使いまわっていることがあり、その日の対応になってしまうことがある。前もって立案がされ、余裕を持ったスケジュールで立案検討ができるように進めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	季節に合わせた工作など実施しています。	上記と同じように、余裕をもったスケジュールになるよう、早めの立案がされるようにしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	お子さまのご利用時間帯を考慮しながら、平日や長期休暇などサービス提供時間に合わせたスケジュールを組んでいます。	子どもの課題と活動プログラムとの関連づけた内容をスタッフと共有し、支援のねらいを把握し、細やかな支援ができるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	一人ではやる気が出ないときは他児も参加させ集団として取組として活動するなど臨機応変に対応しています。	これまで通り対応していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	自発管からお子さまの状況について報告があり、スタッフ間の情報共有を図っています。	長期休みや学校が時短で終わる時など全員がそろっての情報共有が難しいときがあり、自発管から口頭、メモ等によって伝達されるよう検討します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	記録をかきながらスタッフ同志でふりかえりをする時間を設けています。気づいた点は自発へ報告しています。	大事なことは別途連絡をしてもらうなどの対応をとっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	記録を取る時間を片づけに優先して行うことで時間の確保をしました。	支援内容に沿った項目をあげて記録しやすいフォーマットを検討していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	6か月に1回定期的に見直しをしています。	これまで通り対応していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	自立支援や創作活動を組み合わせながら支援を行っています。	これまで通り対応していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	本人中心者会議に児童発達管理責任者が出席しています。	これまで通り対応していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	保護者から連絡を受けることでその都度対応しています。	これまで通り対応していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	0	現在のところ、該当者はいません。	受け入れる場合は看護師の採用などが必要となるためすぐの対応は現時点では困難です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	0	支援会議で自発支援事業者と一緒に情報共有をしています。	今後も状況共有できるよう努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	0	高校卒業される方はいませんでした。	情報が伝わるよう、事業所での様子について書面で用意するよう心がけていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	新型コロナ対応のままとなり、外部研修を受けていません。	参加するようスタッフに促していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	各種イベント参加で、児童館等地域交流が図られるようになりました。	今後も継続していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	青愛協にメンバーとして参加することになりました。	今後も継続していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	保護者と日々の利用状況を説明する中で、子どもの状況について情報共有を進めています。	これまで通り対応していきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	0	保護者の困りごとに対して、いくつか対応方法をお伝えして考えて頂くきっかけづくりをしています。	普段のお迎え時にも困りごとをお伺いするようにして、対応方法等をお伝えできるように検討していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	見学時に施設概要や支援方法、利用者負担は契約時に説明しています。	これまで通り対応していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者からの求めに応じて助言しています。	これまで通り対応していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	昨年に引き続き12月に茶話会を開催しました。	保護者が集まる機会が今後もできるように、茶話会等の開催を続けていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	今年度も苦情はありませんでしたが、保護者が気にしていることを苦情となる前に対処するよう心がけていきます。	苦情対応について、研修で内容・対応方法を再度理解を深めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	会報を通じて、事業所の活動を発信しています。	これまで通り対応していきます。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	支援活動以外に個人情報を用いないよう注意しています。	これまで通り対応していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	お迎えや送迎時に今日の様子を伝え、話をしやすい環境づくりに努めています。	これまで通り対応していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	0	実施していません。	実施について検討してみます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	各種マニュアルの策定をしています。	内容が古くなっているところもあるのでマニュアルの見直し、保護者向けに玄関に置く、スタッフへ一読を促していくこととする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	地震・火災の避難訓練を実施しました。	近隣の避難場所である公園まで実際に避難する訓練も取り入れるようにします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	年2回虐待防止・身体拘束についての研修をしました。	今後も継続して研修を実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	身体拘束を必要とする子どもはならず、行動を拘束しないよう研修を実施しています。	必要に応じて適宜対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	保護者からの聞き取りで食物アレルギーの情報を収集しています。キッチンに指導員が確認できるリストを掲示し、口に入れることがないよう配慮しています。	保護者から最新の情報をいれ、スタッフとの情報共有を行っています。おやつのアレルギー品目のダブルチェックをしています。エビペンの使い方研修を実施します。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	ヒヤリハット事例はスタッフ間で共有しています。	改めて怪我に至らない事案がないかスタッフに周知していきます。	